



アイデアメロンパンが商品化

駒野真子さん(持田・11歳)

埼玉県県内の小学4年生から6年生を対象に「身近な女性や憧れの女性に食べてもらいたいメロンパン」のアイデアを募集しました。340点もの応募の中から、西小学校6年の駒野真子さんのアイデアが選ばれ、このたび山崎製パン株式会社埼玉工場により「ハム&チーズ風味メロンパン」として商品化されました。

駒野さんがイメージしたのは、「忙しく働く女性」。おやつとしてだけでなく、軽食としても食べてほしいという思いで考えました。「甘いメロンパンをさらに甘くするのは、塩気のある生ハムを使い、クリームチーズを挟むことで味の調和を取りました」と工夫した点を語ります。商品化に当たり、衛生上の理由が



発売に先駆けて上田知事を表敬訪問した際に「おいしく完成しました」とこやかに話します。

発売に先駆けて上田知事を表敬訪問した際には、目の前で知事がメロンパンを頬張り「甘さと塩味が絶妙なバランスでおいしいね」と褒めてくれたそうです。そして、10月1日の発売日に近所のスーパーマーケットの売り場に並ぶメロンパンを見た時のことを「最初は信じられなかった」と振り返る駒野さん。「近所の人や学校の友達などから『食べたよ。おいしかったよ』という感想を聞いて、次第に実感が湧いてきました」と話し、「たくさんの方が一緒に喜んでくれたことがうれしかったです」と満面の笑みを浮かべます。

駒野さんは普段から自分の考えを絵や工作などで表現することが好きで、昨年は県が主催した第5回アイデア弁当コンテストでいろいろなおかずが入った「彩の国いろどり弁当」を発売し、1位の埼玉県教育委員会教育長賞を受賞しています。「将来は人の役に立つ仕事に就きたい。そのためには、さまざまなことに興味を持ち挑戦して視野を広げていきたいです」と意欲を語ってくれました。

なお、この商品は11月未まで関東近郊のスーパーマーケットやコンビニエンスストアで販売される予定とのことです。

はじめまして

★★★ 平成27年 11月生まれのおともだち ★★★

平成28年1月生まれのお子さんを募集します

○11月1日(火)~30日(水)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
 ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
 ○応募者多数の場合は、12月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



橋本 渉平ちゃん(持田)
 平成27年11月23日生まれ
 父・幸治さん 母・友紀子さん
 「元氣いっぱい! 大きくなあれ!」



荒木 陽向ちゃん(持田)
 平成27年11月6日生まれ
 父・清孝さん 母・由加里さん
 「たくさん笑って 大きくなあれ!」



古川 さくらちゃん(柳田)
 平成27年11月6日生まれ
 父・勇太さん 母・恵里花さん
 「すくすく元氣に 育ちますように!」



木元 美咲ちゃん(中里)
 平成27年11月24日生まれ
 父・秀和さん 母・有子さん
 「可愛い笑顔に癒されます♡」



一之瀬 七海ちゃん(長野)
 平成27年11月12日生まれ
 父・政至さん 母・由里子さん
 「兄妹仲良く♡元氣よく♡」



内田 柚羽ちゃん(佐間)
 平成27年11月11日生まれ
 父・美さん 母・由紀子さん
 「元氣に♡♡♡ 大きくなあれ!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!!

株式会社駒見商店

オーダーメイドにこだわった包装資材を提供



会社プロフィール

代表取締役 駒見 清蔵
 【事業内容】包装資材製造・販売・卸売
 【住所】 忍2-12-4

昭和40年に創業した駒見商店は、ポリエチレン・ポリプロピレン製の袋やフィルムを中心とした包装資材全般の製造・販売をしています。専務取締役の駒見彦彦さんは「オーダーメイドサービスにこだわり、デザインから規格までお客さまの要望に合わせたものづくりをしています。袋の大きさは幅・長さ共にミリ単位で調整することができ、形状も手提げ型やチャック付など柔軟に対応することができま」と説明してくれました。そんな同社の主力商品は、10年前に工場を新設してから常時50種類以上をそろえる「台形スリーブ」「ポリVカット花袋」といった鉢物生花用の包装資材。これは鉢植えを出荷する際に、葉や茎が絡まったり痛んだりしないよう保護するもので、市内で同社しか製造しておらず、出荷シーズン時には一日約5万枚も生産するそうです。他にも金魚すくいに使われるひも付き袋など、一般のビニール袋はもとより顧客の特殊なニーズをかなえる商品展開をしています。

また、包装資材と併せて10年前から手掛けているのが、ラベルシール製造です。デザインから印刷まで一貫して自社で行っており、品名や品質表示など一般的なラベルから商品ロゴのような広告としてのラベルまで幅広く対応。企業や商店はもちろんです、個人からも注文を受けています。さらに、包装資材とセットで販売できる点も他社には無い強みで、実際に市内の足袋製造業者では商品を入れる袋とサイズを表記するラベルを併せて採用しているそうです。

今年、新たにポトムシール加工の機械を導入した同社。「今後は新しい機械で生産の安定化を図るとともに、新商品の開発にも力を注いでいきたいです。これまで培った技術を生かして、ハロウィーンに使う仮装用マントなどのパーティーグッズといった新たな商品も考えていきたいです」と駒見さんはこれからの構想について語ってくれました。確かな実績を積み重ねながら、新たな商品開発を続ける同社の活躍が期待されます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
 ◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
 広報広聴課へご応募ください。

- | | | |
|----------------|-----------|-----------------|
| 俳句 | 佐間 蛭田 和夫 | 須加 天沼 広吉 |
| 塀に添う紫苑の花や武家屋敷 | 荒木 藤田 栄之 | 荒廢田戻るあてなき稲穂かな |
| 身に入むや戦後を知らぬ兵の墓 | 荒木 森田 静 | 晒されし芥の数多川の秋 |
| 秋時雨試歩の一步を踏み出せず | 城西 鈴木 正夫 | 爽やかや句帳片手に利根歩く |
| 蝸もときに音痴な奴がいる | 門井町 宮田 淑尚 | 秋の風浮き雲一つ掃き残す |
| 耳朶に触る利根の川風花芒 | 城南 橋本千枝子 | 不意打ちの木犀の香に歩をとどむ |
| 吾にまだ生きる力や運動会 | 矢場 高田みつ子 | 運動会童女に遠き日を重ね |
| 退院の母に差しかけ秋日傘 | 持田 二瓶 弘子 | 赤蜻蛉田圃アートを独り占め |
| すっぴんの色を灯せり曼珠沙華 | 富士見町 森 節子 | 今年米まづ一粒を噛みしめる |
| お飾りのむなしく並ぶ無月かな | 棚田町 財津ミチエ | 背を押され孫の婚礼秋うらら |
| 人住まぬ土塀にみだる秋の花 | | 木犀の金銀ありて銅のなし |
| | | (三沢 一水 監修) |